

吉舎中研究だより vol.3 令和6年8月23日研究部

第3回校内授業研究会 教科：音楽 授業者：〇〇教諭

7月9日（火）に研究授業を行い、8月20日（火）に研究協議を行いました。

★参考になる（次につなげたい）ポイント

①活動の意味を実感することができる実践の場

今回の授業では、

1. 既習事項をもとに個人で曲にふさわしい表現を考える
2. 班で選択した部分の表現について話し合い、練習する
3. 話し合ったことを歌って発表（実践）

4. 他の班の発表を聴いて感じたこと、気付いたことを交流し、振り返る

という流れで授業を行いました。生徒が考え、話し合ったことを「班ごとに歌って発表」としたことで、班での話し合いがより意味のあるもの（実際に自分たちでできる表現方法を考えようとする姿）となりました。また、考えたことを実践することで「表現を工夫すると相手に伝わる」と、活動の意味を感じることができた生徒が多くみられました。そうすることで、次への意欲につながるのではないかという意見がありました。



②ゴールが見ただけで分かる

今回の授業では「曲にふさわしい表現を音楽記号や曲想を手掛かりに考えて歌おう」というめあてでした。改善案として、「ふさわしい」➡「情景や心情が伝わる表現」とすることや、めあてが長くなる場合はキャッチーで分かりやすい目標（国語科の例：かしこく書く）を示すなど、全員が見ただけで分かるめあてにすることで、全員が迷わず活動することができるのではないかという意見がありました。

★今後に向けてのキーワードは…

・ 実践する場の設定

・ 全員が見ただけで分かるゴールの提示



研究の成果を日々の授業づくりにつなげ、吉舎中の授業の質をチーム職員で高めていきましょう。